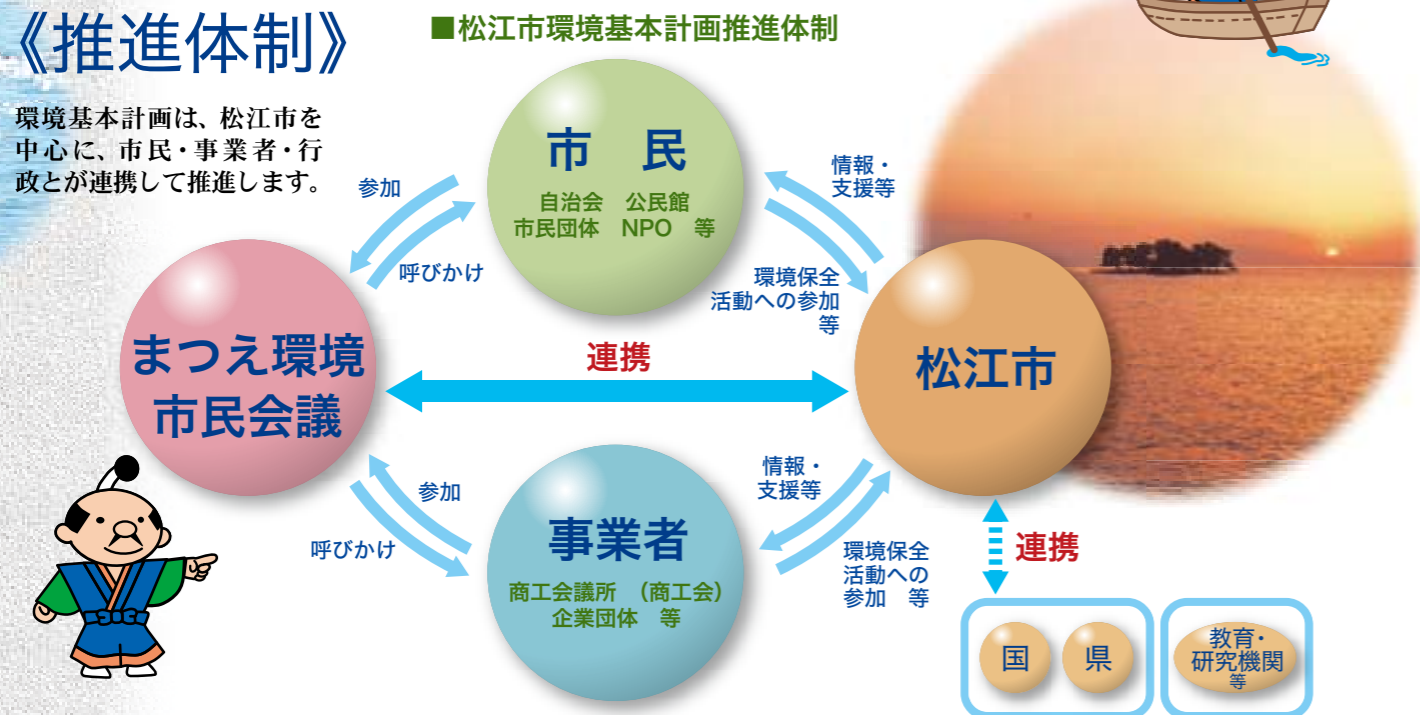


計画の推進にむけて



《推進体制》

環境基本計画は、松江市を中心に、市民・事業者・行政とが連携して推進します。



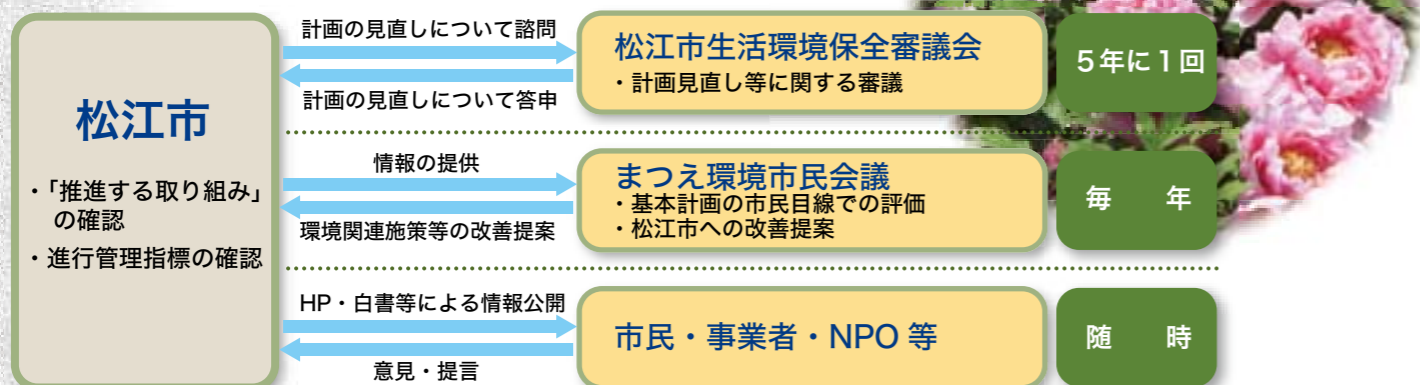
■取り組み指標(抜粋)

指標名	単位	現状	目標		
			中間年度 H27 年度	最終年度 H32 年度	
宍道湖 (COD75% 値)	mg/l	H22 5.9	4.6	-	
中海 (COD75% 値)	mg/l	H22 5.3	5.1	-	
植林本数及び面積 (累計)	本 ha	H22 23,000	200,000	-	
		5.75	55.75	-	
クリーンまつえなど清掃活動の参加者の人口に対する割合	%	H22 6.5	15.0	20.0	
マイバッグ持参率	%	H23 88.5	100	100	
1人あたりの電力消費量	kWh	H22 2,656	(H24) 2,449	2,313	
「松江市児童生徒意識調査」における肯定的な回答割合(小4~中3の平均値)	%	ごみ・循環型社会(家でごみの分別やりサイクルに心がけている)	75.9	80.0	85.0
		地球環境の保全(誰もいない教室の電灯は消すようにしている)	69.4	75.0	80.0

《進行管理手法》

環境基本計画は、その進捗状況について毎年確認し、必要に応じて改善を行うとともに、計画期間の中間年にあたる27年度を目処に計画の見直しを行います。毎年進行管理は、「推進する取り組み」に関する評価と、進行管理指標の確認により行います。

■松江市環境基本計画推進体制



松江市環境基本計画



平成23年12月~

松江市

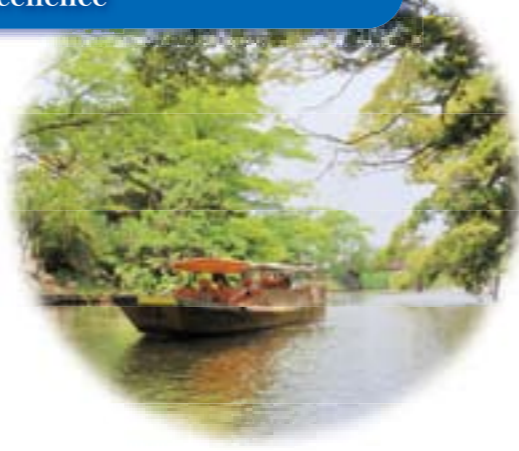
「世界に誇る環境主都まつえ」の実現を目指します



《基本理念》

私たちが暮らす松江市は、水と緑をはじめとした豊かな自然に恵まれています。こうした環境を守るために、市民一人ひとりが環境に対する危機意識を持ち、身近なところから環境保全に向けた取り組みを実践していくことが求められています。

本市では18年度に策定した環境基本計画について、社会状況の変化、環境を取り巻く情勢の変化などの確に対応していくため、また、23年3月11日の「東日本大震災」により「安心・安全」に対する環境対策の取り組みの必要性が高まっており、市民の「安心」できる暮らし、「安全」の確保を前提に、自然環境・生活環境・地球環境・快適環境など環境施策全般について見直しを図る必要があることから新たな行動指針として松江市環境基本計画を策定しました。



世界に誇る環境主都まつえ

～リサイクル都市日本～

Matsue —Leading City for Environmental Excellence

環境主都

「主都」は、地方の主要都市を意味します(首都は中央政府のある都市の意味)。本計画では、環境を大切にする取り組みが他の自治体や地域の模範になる都市という意味で「環境主都」を用いています。

リサイクル都市日本

松江市では、13年から「リサイクル都市日本」を環境政策推進のキャッチフレーズに掲げました。リサイクルの推進を通じて、環境問題全般について、市民の環境意識が日本一高いまちを目指しています。

《基本目標》

目指す環境像

本計画では、「自然環境の保全・活用」「循環型社会の構築」「地球環境の保全」「市民参加」の4つのテーマ別に、目指すべき地域の将来像を以下のとおり定めます。

《基本理念》
世界に誇る環境主都まつえ
～リサイクル都市日本～
Matsue —Leading City for Environmental Excellence



《推進する取り組み》

目指す環境像の実現に向け、市民・事業者の皆さんとともに取り組みを推進します。

テーマ1 自然環境の保全・活用

自然と人が調和する水と緑の安らぎのまち

「水」と「緑」を中心とした自然環境を守り、人に癒しを与えてくれる場として活用することで、国際文化観光都市として世界に誇れる安らぎのまちを目指します。

自然環境の保全と復元

- 水質保全
- 緑(森林・農地・公園)・水辺の確保
- 生物多様性の確保
- 環境監視・公害対策
- 有害化学物質対策

自然環境の活用

- 自然とのふれあい
- 環境に配慮した開発・整備

テーマ2 循環型社会の構築

みんなの意識が高い循環型のきれいなまち

市民の高い環境意識でごみを減らすとともに、適正な分別などにより循環利用することで循環型社会を構築し、本市を循環型のきれいなまちとすることを目指します。

生活環境の整備

- 清掃活動の推進
- ポイ捨てや不法投棄対策

資源の有効利用の推進

- ごみの分別・再利用の推進

ごみを減らす取り組みの推進

- ごみを減らそう運動の推進
- 生ごみの減量・堆肥化

テーマ3 地球環境の保全

一人ひとりが地球を思いやるまち

地球温暖化問題の解決に向けて、一人ひとりが地球を思いやり、温室効果ガスの排出が少なく、地球温暖化対策と産業振興が両立できるまちとなることを目指します。

低炭素社会の実現

- 二酸化炭素の排出抑制・吸収促進
- 省エネルギーの普及促進
- 新エネルギーの利用促進
- 車社会への取り組み

環境と経済の両立

- 環境にやさしい観光地づくり
- 環境ビジネスの振興
- 環境保全型農業の推進

テーマ4 市民参加

気づき、学び、みんなが行動するまち

普及啓発活動、環境活動組織の支援などを通じて、市民一人ひとりが環境の危機に気づき、学び、そして実際の行動に移すことができるまちを目指します。

環境意識の高い人づくり

- 情報提供の推進
- 環境教育の推進

行動できる体制づくり

- 活動推進組織・ネットワークづくり
- 環境活動参加意識の高揚

《目指す環境とキャッチフレーズ》

自然環境の保全・活用

自然と人が調和する水と緑の安らぎのまち
～みどりいっぱい1365～



景観保全、水質保全、二酸化炭素削減対策などのうえで、緑を守り、増やしていかなければなりません。
※木一本が、一年をかけて一世帯一日分の二酸化炭素を吸収しています。

循環型社会の構築

みんなの意識が高い循環型のきれいなまち
～目指せ100%マイバッグ～



ごみを減らすためには、まずはごみになるものをもらわない、断る(リフューズ)ことが重要です。
マイバッグ運動をはじめとしたリフューズに積極的に取り組み、廃棄型生活を改善していきます。

地球環境の保全

一人ひとりが地球を思いやるまち
～全市一斉ライトダウン～



省エネは、だれでも実践できる地球温暖化対策の取り組みです。家庭部門から排出される二酸化炭素の割合が多い松江市では、まずは家庭で電気を消費する手軽なことから確実に行動することが重要です。ライトダウンキャンペーンなど既存の取り組みと絡めながら、効果的に推進します。

市民参加

気づき、学び、みんなが行動するまち
～みんなでもう環境意識～



小学校全学年での環境教育を実施し、次世代の松江市の環境保全を担う子どもたちを育成します。子どもたちの育成とあわせて、生涯学習等を通じて大人の環境教育も推進し、みんなが環境意識の高いまちを目指します。